

# 教職員情報

2005年10月

## 理学部附属 植物園のいきものたち 第28回

今回は昆虫のカップルを2組紹介しま

写真1はコナラの樹液を吸っているノギリクワガタです。少し分かりづらいですが、上に覆い被さっているのがオスで(写真には大顎のみが写っています)、下にいて腹部が見えているのがメスです。この2匹は交尾中ではなく、単にオスがメスをガードしているだけです。こうすることでメスを交尾相手として確保しており、もし他のオスが割り込んでこようものなら、メスを巡って激しい戦いが繰り広げられることとなります。このクワガタは、大型個体の大顎が強く湾曲している姿から、俗に「水牛」と呼ばれることもあります。最近では目にすることが少なくなったクワガタですが、植物園では少ないながらも世代を繰り返しているようです。



▲写真1



▲写真2

写真2は交尾中のシオヤアブです。この種はムシヒキアブと呼ばれる大型のアブの一種で、その名の通り、他の虫を捕らえて体液を吸って生活しています。ハエやコガネムシ、さらにはスズメバチに至るまで、様々な昆虫を捕まえます。植物園では、草が繁茂した東側のエリアでよく見られます。ハチのような大きな羽音を出して飛び回り、このようにペアになったままでも飛行することができます。